

京阪電鉄 1000形 形式図

国鉄モハ52系に対抗して登場した流線型電車の一つ

1938年製の転換クロスシート車で、同系にロングシートとして1937年に製造された1100系がある

ヘッドライト両脇に通風器を付けた、勇壮な感じの流線型であるが、反対側にも運転台があって、

この方は貫通幌をつけた半流線型となっており、いかにも私鉄らしいデザインといえよう

カウキャッチャー形排障器付きの流線型というのも珍しい

軸数は10軸

図は製造当初、台車NS18、のち車内はロングシートに改造されている

